

夢から

toukenranby fanbook #03
shokudaikiri*heshikiri
presented by asunofuchise
2015.06.28

R18

あゆめ



へし切

へし切長谷部

?

本当に
良い刀だ

…?

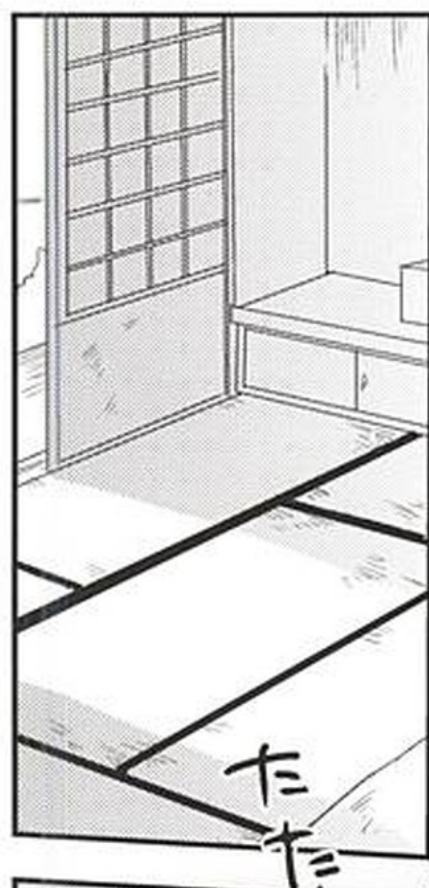
—これは
よく切れる

へし切長谷部

そうですね

……ああ
それは







…ああ
いま行く



…うん



じゃあ早く
支度しちやってね

はた
はた



なんだ
そうか

……っはは



夢からさめて











君さ




心ここに
あらずつて
顔してる



気付いたら
よく眠るよう
なっていて



段々とここへ
来る時間が増えた



その夢はいつも
単調だった

あの人
が俺に
触って

使
って

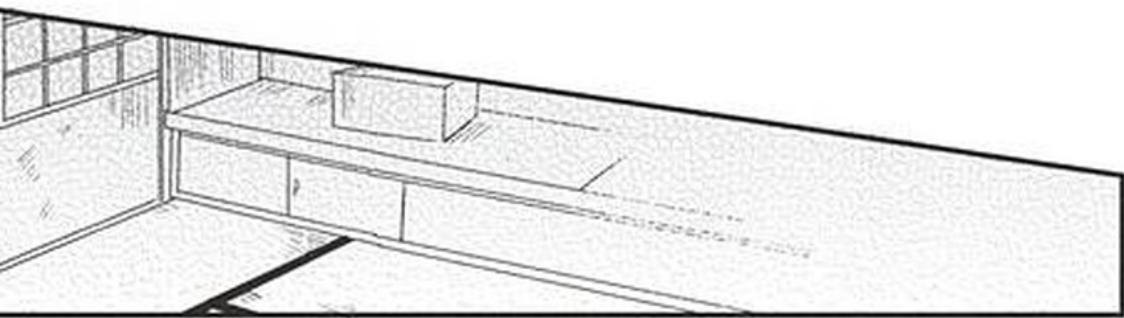
呼
んで

ただ
それ
だけ
だっ
た

そ
れ
だ
け



それだけなのに
どうしてこんな
気持ちになるんだ



……あのさあ
長谷部くん

なんだ









いいよ
今日はぐっすり
寝かせてあげる



長谷部くんが
急かしたんだから
覚悟してね



...



つまり
君の足腰が立たなくなれば
どこへも行けないわけだ









だからさ
どこへも
行かないでよ

はっ

ん

長谷部くん

はあ



光忠……







へし切長谷部
良い名前だろう？

う、うん！
すこく切れそう

隠れた茶坊主を
棚ごと庄し斬った
記念の命名なんだ



ふふ
：嬉しそうに
話すね

ん？

気に入ってるんだ
その名前



ああ
あの人がくれた
名前だからな



—うん

そうだね

良い名前だ

——へし切長谷部



よく寝てたよ



おはよう

っ



へし切くん
長谷部くん



君が寝言で
懐かしいことを
言うからさ



聞いたのか

うん

君がそんな夢
みてるなんて
意外だったけ



ははは

その名前で
呼ぶなって言った



自分の名前、
忘れちゃうでしょ

—それにたまには
呼んであげないと



へえ？



……俺は
忘れたいんだ



長谷部くんは
嘘吐きだね



—夢に見るくらい
忘れたくない癖に

前は気に入ってたよね

その名前

呼んだら
嬉しそうにしてた

—もう
認めちゃえば
いいのにさ

…いやだ

そうやって
嘘を吐くから
辛くなるんだよ

いや、だ

…いやだ
こんな気持ちに
なるくらいなら

嘘

名前なんて
いらなかった

…本当に
嫌ならさ

へし切なんて名前捨てて
僕と同じ名前にしちゃいなよ

燭台切長谷部くん

じゃあ
燭台へし切
長谷部くん

いやだ

つぶざけるな



—お前
嫌な奴だな



ふふ
やっとこつちを
見てくれた



—ねえ長谷部くん
今は無理かも
しれないけどさ

いつか
ちやんと僕にも
呼ばせてよ



それでいつか



あの日みたいになんて
笑ってみせて

END

toukenranbu fanbook #03
shokudaiki*heshiki
presented by asunofuchise
2015.06.28

